

令和7年度 阿武町立阿武小学校 後期学校評価報告

保護者、地域関係者への「よりよい学校づくりのアンケート」と児童の「ふりかえりカード」の集計結果について、本年度の重点目標を踏まえ、「郷」「知」「徳」「体」のそれぞれの重点取組事項について考察を行いました。

本年度の重点目標

子どもたちの将来的な自立と共生を願い、その素地となる「きづく、きめる、かかわる、やりぬく」の心や力を意識し、特に「きめる」において自己選択・自己決定を大切にしながら授業や教育活動を進め、「楽しさ」と「やさしさ」あふれる阿武小学校をともにつくる。

【最重点取組事項】

(知) 学力向上に向けて、分かる、できる授業づくりを進める。

(徳) 温かい豊かな人間関係づくりを進める。

本年度の重点取組事項

郷

- ・育てたい心や力を意識したふるさと学習(ABU学)の推進
- ・学校間、校種間連携の推進(架け橋期のカリキュラム)

知

- ・育てたい心や力を意識した、**わかる、できる授業づくり**
- ・タブレット端末を効果的に活用した学びの場づくり

徳

- ・豊かな人間関係づくり(挨拶、感謝、言葉づかい、教育相談、**道徳**等)
- ・命の教育(防災、防犯、交通安全、アレルギー対応 他)

体

- ・歯と口の健康教育の推進
- ・基本的な生活習慣の確立(睡眠、望ましいメディアの利用 等)

コミュニティ・スクールの取組を基盤として

以下に、その報告をいたします。前期と後期で数値が大きく変化したところを黄色にしています。

(郷) ～4つの心や力の育成～ ～保小中の連携・協働～

【4つの心や力の育成】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	分からない	平均	肯定率
児童	32.1%	53.1%	<u>12.3%</u>	2.5%	0%	3.1	85.2%
保護者	67.2%	28.1%	0%	0%	4.7%	3.7	95.3%
地域	85.7%	14.3%	0%	0%	0%	3.9	100%
教職員	69.2%	30.8%	0%	0%	0%	3.7	100%



アンケートの結果から、「きづく、きめる、かかわる、やりぬく」の4つの心や力の育成に、ふるさと学習「ABU学」や授業等で継続して取り組んできたことにより、児童にそれらの心や力が着実に育ちつつあると捉えています。しかし、児童の肯定率が前期の結果より低下していることから、教職員が日々の教育活動でどんな力や心を育もうとしているのかを児童としっかり共有し、引き続き家庭や地域とも連携しながら4つの心と力の育成に取り組んでいきます。

【保小中高の連携・協働】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	分からない	平均	肯定率
児童	74.1%	21%	4.9%	0%	0%	3.7	95.1%
保護者	67.2%	25%	3.1%	1.6%	3.1%	3.6	92.2%
地域	71.4%	14.3%	14.3%	0%	0%	3.6	85.7%
教職員	69.2%	30.8%	0%	0%	0%	3.7	100%



保護者と地域の肯定率が前期に比べて低下した一方で、児童の肯定率は上昇しました。それは、後期は小中合同の運動会や保小連携の研究発表大会といった大きな行事はありませんでしたが、学園制加配による中学校教員の小学校への乗り入れ授業や保小、小中、小高の交流活動に継続して取り組んできた成果だと推察されます。今後も保小中高間の連携・協働を推進し、教育効果を高めるとともにその成果を発信していきたいと思ます。

(知) ～分かる・できる授業づくり～ ～タブレット端末を効果的に活用した学習～

【分かる・できる授業づくり】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	分からない	平均	肯定率
児童	59.3%	37%	2.5%	1.2%	0%	3.5	96.3%
保護者	59.4%	31.3%	4.7%	1.6%	3.1%	3.5	90.6%
地域	57.4%	14.3%	0%	0%	28.6%	3.8	71.4%
教職員	76.9%	23.1%	0%	0%	0%	3.8	100%



前期と同様に、教職員と児童の評価がともに高い肯定率で連動していることから、一定の成果が出ていることがうかがえます。また、保護者の肯定率も78.6%から90.6%と大きく上がっており、全国学力・学習状況調査等の客観的指標の結果や児童の姿から学習の成果を実感されていることが推察されます。一方、地域の28.6%が「分からない」と回答していることから、今後、ユニット型研修や参観日以外でも授業を見ていただく機会を増やしていきたいと思ます。

【タブレット端末を効果的に活用した学習】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	分からない	平均	肯定率
児童	43.2%	45.7%	8.6%	2.5%	0%	3.3	88.9%
保護者	35.9%	40.6%	12.5%	7.8%	3.1%	3.1	76.6%
地域	42.9%	14.3%	0%	0%	42.9%	3.8	57.1%
教職員	69.2%	30.8%	0%	0%	0%	3.7	100%



前期と比べて教職員の「そう思う」と回答した割合が増えた一方で、児童の「そう思う」と回答した割合が減っています。保護者の肯定率は少し上昇したものの8割に届いていません。地域も半数近くが「分からない」と回答しており、タブレットの活用状況が外部に十分に伝わっていない状況にあります。授業でのタブレット端末の効果的な活用を推進していくとともに、保護者や地域に対して、タブレット利用の目的や成果を情報発信していきたいと思ます。

【進んで挨拶】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	分からない	平均	肯定率
児童	51.9%	44.4%	3.7%	0%	0%	3.5	96.3%
保護者	48.4%	35.9%	9.4%	3.1%	3.1%	3.3	84.4%
地域	57.4%	42.9%	0%	0%	0%	3.6	100%
教職員	15.4%	61.5%	15.4%	7.7%	0%	2.8	76.9%



児童と地域の肯定率が高く、特に地域は肯定率が100%となっています。児童が学校に来られた方や学校外でも挨拶を実践していることがうかがえます。一方、教職員の肯定率は低下しています。これは、もっと自分から積極的に挨拶できるようになってほしいという期待を込めた思いが反映した結果となっています。自分から挨拶をすることが習慣となるには、やはり家庭での関わりと価値付け、そして何より、大人が積極的に挨拶を交わす姿を見せることがとても重要です。「いつでも、どこでも」気持ちのよい挨拶が交わされる心地よさを味わえるように、家庭、地域、学校が協働して取り組んでいきたいと思ひます。

【やさしい言葉を使って話す】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	分からない	平均	肯定率
児童	42%	51.9%	2.5%	3.7%	0%	3.3	93.6%
保護者	34.4%	57.8%	6.3%	0%	1.6%	3.3	92.2%
地域	28.6%	42.9%	0%	0%	28.6%	3.4	71.4%
教職員	15.4%	76.9%	7.7%	0%	0%	3.1	92.3%



前期に比べて、保護者と教職員の肯定率が上昇しました。児童の肯定率も高いことから、児童がチャレンジ目標を意識して継続して取り組み、一定の成果が表れていることがうかがえます。豊かな人間関係づくりにおいて、相手のことを考えた言葉づかいはとても大切です。引き続き、学校でも取り組んでまいります。ご家庭でもアンテナを張り、しっかり導いていただきたいと思います。

【いじめ防止の取組】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	分からない	平均	肯定率
児童	88.9%	8.6%	1.2%	1.2%	0%	3.9	97.5%
保護者	40.6%	35.9%	3.1%	7.8%	12.5%	3.3	76.6%
地域	57.1%	14.3%	0%	0%	28.6%	3.8	71.4%
教職員	92.3%	7.7%	0%	0%	0%	3.9	100%



児童への質問 「いじめはどんな理由があってもしてはいけませんか。」

前期と同様に児童(97.5%)と教職員(100%)の肯定率が高いです。これは、いじめに対する教育により、児童に「いじめは許されない」という認識が育っている結果だと捉えられます。保護者の肯定率も前期に比べて上昇しました。今後も引き続きいじめの防止に向けて取り組むとともに、一層の情報共有と透明性の向上を図っていき、学校の取組が保護者と地域に伝わり、安心していただけるように努めていきます。

【学校安全の取組】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	分からない	平均	肯定率
児童	64.2%	33.3%	2.5%	0%	0%	3.6	97.5%
保護者	71.9%	28.1%	0%	0%	0%	3.7	100%
地域	57.1%	28.6%	0%	0%	14.3%	3.7	85.7%
教職員	84.6%	15.4%	0%	0%	0%	3.8	100%



この項目は後期学校評価から設定したものです。学校生活における安全は、最優先に確保されなくてはならないものです。同時に、有事に備えて命を守る行動がとれるように常に意識、備えておく必要があります。学校では、児童が自分で判断して行動できるように、日時を知らせないブラインド型の避難訓練を計画的に行っています。児童、保護者、教職員の肯定率の高さから、その成果がうかがえます。今後、地域の防災訓練への参加を呼びかけるなどして、安全意識の高揚と実践力の向上を一層図っていきます。

(体) ～基本的な生活習慣の確立～

【よりよい生活習慣づくり】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	分からない	平均	肯定率
児童	67.9%	25.9%	6.2%	0%	0%	3.6	93.8%
保護者	31.3%	50%	10.9%	7.8%	0%	3.0	81.3%
地域	28.6%	28.6%	0%	0%	42.9%	3.5	57.1%
教職員	15.4%	61.5%	15.4%	0%	7.7%	3.0	76.9%



児童への質問 「あなたは歯みがきをすることの大切さが分かり、進んでしていますか。」

地域の方への質問 「学校は、早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき、メディアの正しい使い方など、よりよい生活習慣づくりに取り組んでいる。」

「レインボー週間」などの継続的な取組により、肯定的に回答している児童の割合は高い結果となっています。生活習慣の重要性を理解し、意識して取り組もうとしていることがうかがえます。しかし、児童の自己評価に対し、保護者と教職員の肯定的な回答はやや低く、児童に望ましい生活習慣がまだ十分には身に付いていないと感じています。自立の基盤となる基本的な生活習慣づくりは、やはり家庭が中心です。学校でも家庭と連携しながらよりよい生活習慣づくりの意識啓発に継続して取り組んでいきます。

【望ましいメディア利用】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	分からない	平均	肯定率
児童	40.7%	35.8%	18.5%	4.9%	0%	3.1	76.5%
保護者	18.8%	34.4%	28.1%	18.8%	0%	2.5	53.1%
地域	28.6%	28.6%	0%	0%	42.9%	3.5	57.1%
教職員	15.4%	46.2%	23.1%	7.7%	7.7%	2.8	61.5%



地域の方の回答【よりよい生活習慣】と【望ましいメディア】の数値を同じにしている。

これまで「レインボー週間」や「学校保健安全委員会」などを通して、望ましいメディア利用に向けた取組を進めてきましたが、児童、保護者、地域、教職員の全てにおいて肯定率が低く、メディア利用の現状に強い懸念を抱いています。メディアコントロールは、児童の生活面での自立をめざすPTA活動方針の一つです。児童の健康面のみならず、豊かな人間関係づくりにも多大な影響を及ぼすことから、今後一層、学校と家庭が一体となって、望ましいメディア利用のルールや子どもの主体的行動を促す手立てを考えていく必要があります。

学校教育活動をよりよくするために、ご意見や情報があればお聞かせください。

【保護者の自由記述】

○町内の保育園や、中学校と一緒に活動する取り組みの良い所がわからない。

→ご意見ありがとうございます。学級、学校だよりやホームページ等で取組の様子とともに、活動のねらいや効果についてもお伝えしていくようにします。

○1年生の担任の先生は、子どもたちの日常のどんなに些細なトラブルでも(児童クラブでのことでさえも)、子どもたちが困っていたり悲しい思いをしていたりしたら、いつも丁寧に思いを聞いてくれて、一つずつ解決しようと努めてくださっています。子どもも、担任の先生が大好きで、もし何かあっても先生が話を聞いてくれるから、と安心して過ごしています。本当にありがとうございます。萩でのどんぐり拾いや、トンネル見学等、校外学習も楽しんでおり、素敵な活動だと思います。

→温かいお言葉ありがとうございます。

○校外学習について、学習内容にガチガチに沿ったものばかりでなく、以前のように、給食停止し、お弁当おやつ持参で一日かけて遠出する等、もう少し子どもたちにとってお楽しみの要素があつて欲しいと、親も子どもも感じています。校外で学習する、というだけでも、たくさんの学ぶ要素はあると思います。

→ご意見ありがとうございます。校外学習は、実際に現地に行き、見たり、体験したり、お話を聞いたりして学習の効果を高めるために行っています。学習の内容や校内行事等を考慮し、半日になったり、終日になったりします。また、アレルギーのことも考慮して、おやつの持参は取りやめております。何のために、なぜ行うのかを最優先に考慮して実施しておりますこと、ご了承ください。

○ふるさとの良いところがたくさん出てくる、阿武町歌を機会ごとに歌ってはどうか。あぶハーモニーの指導を仰ぐのもよいと思います。また、阿武町音頭がうまく踊れていないようです。さつきフォークダンスの方に教わってはいかがでしょうか。

→ご意見ありがとうございます。今後、ABU学や地域協働活動の充実を図る中で検討していきたいと思います。

○今年度は午前中授業の日が多かったようですが、予定表等に理由の記載が見当たらず、どのような理由からでしょうか？午前中授業により、授業数等が少なくなるのであれば、授業数確保のために夏休みが短い必要性がなくなるのでは？夏休みの期間について再考したほうがよいのでは、と思います。(夏休みが明けても、午前中授業の日が数日あるので、それならばいっそ、夏休みを延ばした方がよいのでは、と個人的には思います。)

→ご意見ありがとうございます。4月のPTA総会でご説明したように、標準の授業時数以上の余剰時間の削減と教職員が子どもたちに余裕をもって関わるように放課後の授業準備や会議の時間等を捻出するために、午前中授業を設定しています。夏休みの期間に関しては阿武町教育委員会が令和6年に見直しを行い、町の規定として定めています。来年度は2学期制が施行実施されますので、夏休み明けの日程について、校内で検討していきたいと思います。

○漢字検定があるなど、頼りかマチコミなどで締め切りなど保護者に知らせて貰えたら助かる。2ヶ月予定も早く出してくれたら助かる。

→ご意見ありがとうございます。マチコミでのお知らせを一層活用していきたいと思います。2か月行事予定は変更が少ないように月末にお知らせしていましたが、できるだけ早く(中旬を目処に)お知らせしていきます。

○中学校との連携は今後も継続していただきたいと思います。

→ご意見ありがとうございます。今後も中学校との連携をしっかりとしていき、教育効果を高めていきたいです。

【学校運営協議会、学校関係者から】

- 町民センターへ来る子どもたちが元気よくあいさつをしてくれます。地域の人、もの、ことを生かした地域連携教育の取組もすばらしいと思います。地域のイベント等で声をかけることで、地域でも子どもたちを育てていけるとよいと感じます。
- 学校は～に努めている。「努めている」ことを評価するのであって、結果を評価しているわけではない。
- なかなか見づらい項目が多く、不明瞭な答えばかりですみません。先生方にはお身体お気をつけて下さい。他の地域、県では様々な報道がなされて大変だと思います。重ねてお大事下さい。
- 地域学校協働活動が求められています。そこで、町が行う地域ごとの消防訓練、地域個別の清掃作業に子どもたちの参加をのぞみます。
 - 阿武小学校の全ての児童と教職員のことを思っのご意見、ありがとうございます。学校教育目標に照らしながら、改善または強化する部分の質的な充実を進めていきます。どうぞこれからも、児童の育ちと学びをともに支えていただきますようお願いいたします。